

薬理学Ⅱ

Pharmacology Ⅱ

生命：E1-02221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 野澤 玲子(薬理学研究室)

■教育目的

薬理学Ⅰで学んだ神経系・免疫系・オータコイド・ホルモン関連薬を基盤として、各種疾患に対する治療薬の作用機序と有効性・安全性に関してより広く深い知識へと発展させる。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-②③】

■学習到達目標

1. 各種治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。(知識)
2. 各種治療薬の相互作用、依存性・耐性、副作用、毒性について具体例を挙げて説明できる。(知識)
3. 薬理学的能力を研究・開発及び臨床に応用できる。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：講義テキスト・参考書の該当箇所に目を通しておく。(30分以上)

復習：講義テキスト・参考書・確認問題等を活用し、講義内容を復習するとともに、関連事項について調べ知識を整理する。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬 排尿障害・頻尿治療薬	
2	循環器系に作用する薬1	心不全治療薬 抗不整脈薬、虚血性心疾患治療薬	
3	循環器系に作用する薬2	末梢血管拡張薬 高血圧・低血圧治療薬	
4	呼吸器系に作用する薬	呼吸興奮薬、鎮咳・去痰薬 気管支喘息治療薬	
5	消化器系に作用する薬	健胃消化薬、消化性潰瘍治療薬 胃腸機能改善薬、鎮痙薬、催吐・制吐薬 瀉下・止瀉薬、肝・胆・膵臓機能改善薬	
6	生殖器系に作用する薬	子宮収縮・弛緩薬、避妊薬 性機能不全治療薬	
7	血液・造血器系に作用する薬	貧血治療薬 止血薬、血液凝固阻害薬、血栓溶解薬	
8	病原微生物と薬1	抗菌薬、主要な抗菌薬の耐性獲得機構	
9	病原微生物と薬2	抗原虫・寄生虫薬、抗真菌薬 抗ウイルス薬	
10	代謝系疾患の薬1	糖尿病治療薬 脂質異常症治療薬	
11	代謝系疾患の薬2	高尿酸血症・痛風治療薬 骨粗鬆症治療薬	
12	悪性新生物(がん)と薬1	抗悪性腫瘍薬、抗腫瘍ホルモン関連薬、抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構	
13	悪性新生物(がん)と薬2	分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬 抗悪性腫瘍薬の主な副作用	
14	感覚器・皮膚の疾患と薬	眼疾患の薬 耳鼻咽喉疾患の薬 皮膚疾患の薬	
15	医薬品の安全性	薬物相互作用、薬物依存性・耐性 有害事象、副作用、毒性	

■授業分担者

菱沼 滋(No. 1～7)、野澤 玲子(No. 8～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題へのフィードバック：講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。
成績評価方法：学期末試験成績(100 %)で評価する。

■ 教科書

講義 1 ～ 7：『新図解表説薬理学・薬物治療学(第 3 版)』菱沼 滋 著(エムスリーエデュケーション)

講義 8 ～ 15：MY-CAST にアップロードする講義資料

■ 参考書

『薬がみえる(vol.2、vol.3)』医療情報科学研究所 編(メディックメディア)

『新しい疾患薬理学』岩崎 克典、徳山 尚吾 編集(南江堂)

『パートナー薬理学(第 4 版)』栗原 順一 他 編集(南江堂)

『グッドマン・ギルマン薬理書(上・下)』高折 修二 他 監訳(廣川書店)